

わっしょい

題字 森田 秀夫 様

社会福祉法人 上神谷福祉会
特別養護老人ホーム榎塚荘
TEL:072-291-0920

関連施設
ケアハウス逆瀬川
グループホーム高倉
赤坂台デイサービスセンター

おたがいさん (活動名称)

地域の方と、支え合い、共に生きる
まちづくりに向けて、始動しました。

目的

- ① 住み慣れた地域で、できるだけ永く生活できるよう、困りごとに対してサポートする。
- ② 専門職が地域と協働して、専門性を活かし、共に成長する。
- ③ 地域でつながり、支え、支えられるまちづくり。

家族と楽しく過ごす時間を作りましょう

「出合い」による学びと安心、「思いの共有」による自信と気づきで、新たな家族の関係づくり

日時

4月27日(土)

午後2時から3時30分頃

場所

特別養護老人ホーム榎塚荘
1階ダイニング

内容

- ① 参加者と一緒に決めた、楽しめる活動
- ② カフェ・ミーティング

※希望者の個別相談

対象

食事、トイレが自立もしくは、軽い支援で可能な認知症状のある方と家族

定員

3組(家族2人1組)

送迎

ご希望者は榎塚台、晴美台、高倉台、三原台近隣センターで実施

参加費

家族2人で200円(喫茶代)

男性介護者の集い

家事・仕事と

介護の両立に悩み、

介護の抱え込みや

社会から孤立しや

すい男性介護者同士

がつながり、ちよつとした

介護のコツや考え方など共有

しませんか？



日程

毎月第3月曜日10時半～11時半

場所

グランドオーク百寿

費用

100円(Café代)

「まきづか・くらし・

まちあるき」開催

地域の福祉サービスを知り、じっくりお話しませんか？

日時

5月25日(土)午後1時～3時頃

集合

榎塚台近隣センター駐輪場付近

内容

- ① 榎塚台レストランでカフェ・ミーティング
- ② 徒歩で移動しながら、地域の介護・福祉サービス事業所、施設や地域の取り組みの紹介
- ③ 特別養護老人ホーム榎塚荘の施設見学
- ④ カフェ・ミーティング

(認知症ケアの取り組み他)

※費用…レストランで1ドリンク



40から50代の介護を担っている方へ

担っている方へ

介護や子育て、仕事の両立など、同世代で話し合える機会です。時間のある方は、一緒にランチ・ミーティングしませんか？

日程

4月5日(金)10時半～11時半
(11時半～ランチ・ミーティング)

場所

風のこもんず高倉台1丁2
(高倉台西小学校跡)

費用

1ドリンク(250円)



物忘れが気になるときは・・・

鍵や通帳など大事なものが見つからない。ついさっきのことを忘れて、家族に指摘されるなど、誰にでも起こりうることでありますが、不安ですよね。認知症状には、様々な種類があります。早期に対応することで、進行を抑えられる可能性があります。

お電話くださいね。
南第4地域
包括支援センター



各種イベントのお問い合わせは

南第4地域包括支援センター ☎ (072) 291-6681 までご連絡
お待ちしております。

特別養護老人ホーム榎塚荘の取り組みについて

日本の人口はここ数年間で減り続けており、特に労働力人口は減少傾向がさらに大きくなることが予測されています。ここ大阪府堺市南区も例外ではなく、近い将来高齢化社会のピークを迎え、介護ニーズの急増と多様化に対応する必要がある一方、介護人材の確保が困難になっているのが現状です。

このような状況の中でも特別養護老人ホーム榎塚荘は、地域における安心の担い手として役割を果たすことを法人理念に掲げ、

- ① 長く働きやすい職場環境
- ② 業務の明確化と役割分担
- ③ 外国人留学生の受け入れと育成



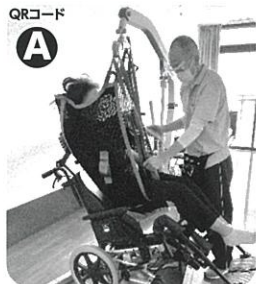
これらを3本柱とし、介護の質を確保・向上させていくことを目指しています。このことは、厚生労働省が示す『介護の生産性』の中でも触れられ、『介護の仕事の価値を高める取り組みは、人材育成とチームケアの質の向上、そして情報共有の効率化の3つを生産性向上

に取り組む意義としている。』とあり、国の方針と榎塚荘の方針が同じことを示しています。

① 長く働きやすい職場環境

1.. ノーリフト介護（抱え上げない介護）

介護現場では、腰痛による離職は深刻な問題です。せっかく利用者さまと顔なじみになれても、その職員が辞めてしまうことは利用者さまにとって心身ともに負担がかかることです。腰痛による離職は、本人はもちろん、他職員にとっても良いことは一つありません。榎塚荘ではベッドから車いすに安全に移乗ができる床走行式リフト「QRコードA」や、立ち上がりをサポートするスタンディングリフト「QRコードB」、ベッドから真横にスライドさせることができるスライ



ディングボードとフルフラット車いすなど、長く現場で介護ができる環境を整えています。

2.. ロボット・センサー・ICTなどテクノロジーの活用

これまで榎塚荘では夜勤の職員は1人で約20名の利用者さまを1時間おきに巡回し、同時に必要な方への排泄ケアや体位交換をしてきました。座る暇が無いほど忙しい夜もあり、翌朝に早出職員の顔を見るとホッとして睡魔が襲う、なんてことも。国は、介護負担軽減や業務の効率化を図るため、ロボット・センサー・ICTの導入による『生産性向上』を推進しています。榎塚荘でも今ではベッド上での呼吸・心拍をモニターで確認できる見守りセンサー「QRコードC」を全床に設置し、褥瘡リスクの高い方には自動で体位交換をしてくれるエアーマットレス「QRコードD」を導入しています。

また、職員はインカムを通じて連携を図り、多職種や他フロアが一体となつて全利用者さまの支援ができる体制になっています。これは効率化と同時に職員にとつての安心感にも繋がりました。



3…介護のプロとして モチベーション向上の機会

普段は目の前の利用者さまへの介護を真摯に行う職員にも、必ずと言っていいほど訪れるのが、マンネリです。榎塚荘では現場の職員の『学ぶ機会』を出来るだけ作りたいと考えています。虐待・身体拘束防止などの法定研修はもちろん、看護師による専門的な知識、緊急時の対応シミュレーション、外部講師によるアンガーマネジメントなど、その内容は多岐に渡ります。榎塚荘の職員は「真面目で優しい」方が多いのが特徴（これはアンガーマネジメント研修の中で実際に行われた心理テストにより出た結果）です。「働きながらもっと成長したい」という前向きな職員によつて、介護の質が保たれています。

また、普段行っている利用者さまへの取り組みを発信できる場が、大阪府社会福祉協議会や、堺市が行っている『研究発表大会』です。排泄予測支援機器（D Free）^{【QRコード】}「**DR E**」を使用し、膀胱の動きを超音波で観察して排泄ケアを実施した取り組みや、オリゴ糖を使った（薬に頼らない）自然排便の取り組み、家族さまと一緒に認知症の方の不安に向き合った取り組みなど、プロとして普段

行っている介護を発信できる場は、大きな達成感に繋がっています。

もう一つの場として、『地域交流』があります。南第4地域包括支援センターと連携し、地域住民の方にミニ講座をさせていただく『おたがいさん』という活動を昨年からスタートしました。特養で身に付けた知識や技術を、在宅で介護されている方やご自身の未来のために少しでも役立てて頂ければ、それは現場職員にとつて、大きなやりがいになるのです。



②業務の明確化と役割分担

1…間接業務と直接業務

榎塚荘では直接お身体に触れて介助をさせていただく職員と、清掃やベッドメイキングなどの間接的な支援をする職員で業務を分担しています。

2…食事介助を専門に行う生活サポーター

榎塚荘には、現在、13名の生活サポーターが勤務しています。生活サポーター

1は2時間という短時間勤務の中で食事介助を主に行います。ほとんどの方が榎塚荘の近隣住民で、60代〜70代のアクティブシニアのサポーターもたくさん活躍しています。以前は夜勤明けの職員と、早出の職員が目まぐるしく配膳・介助をしていた朝食時も、「今はサポーターさんが先に食事介助を丁寧にしてくれるから、心の余裕ができた。」と、なくてはならない存在になっています。



3…余暇活動を充実させる人員配置

榎塚荘では週に3日程度、利用者さまへの趣味活動へ充てる事が出来る人員配置をしています。園芸・読書・買い物・毎月のカレンダー作成・編み物クラブ・手芸・カラオケ・麻雀など、お1人では難しい準備やサポートを行う職員を配置することで、利用者さまにとっての生きがい作りを目指しています。



③ 外国人留学生の受け入れと育成



厚生労働省は2021年に、介護職員の必要数について取りまとめ、『外国人材の受入環境整備など総合的な介護人材確保対策に取り組む』ことを公表しています。榎塚荘では2020年から1名または2名のベトナム人留学生を受け入れ、彼女らが2年間介護の専門学校で学び、休日は榎塚荘でアルバイトをして生活することを見守ってきました。ベトナムの方とはとても勤勉で、高齢の利用者さまを敬い、笑顔は明るくチャームिंगです。その笑顔に利用者さまもつられて顔がほころび、専門学校を卒業するころには利用者さまと職員からの信頼をシッカリ得ています。

『言葉の壁』と『文化の違い』に立ち向かい、日本人職員と肩を並べて一生懸命に働く彼女らと、これから一緒に成長していきたいと願っています。

● ちょっと、脳トレ ●

今回ワードパズル

1 あ		2		3
		4		ん
5		ご		
		6		の
7 り				

ヒント

【タテ】

- 1 豊作を祝って稲の収穫時におこなわれるおまつり。
- 2 ちとせあめがおいしかったなど。
- 3 11月3日は○○○○○。

【ヨコ】

- 1 タコといえば○○○が有名。お笑いの第一人者○○○家さん
- 4 女性の敵。深夜の1人歩き、満員電車には注意。
- 5 小さい子供連れでデパートなどに行く時は注意しましょう。「○○○のお知らせを致します。グレーのズボンに…」
- 6 ♪静かな静かな○○○秋〜♪
- 7 アインシュタインといえば相対性○○○



榎塚荘で使用している
ロボットやセンサー、
ICT機器のご紹介。

A

床走行式リフト



B

スタンディングリフト



C

眠りスキャン



D

特殊マットレス



E

D Free



Instagram
はじめました。



利用者さまの日常風景
をご覧ください。

NIWADANIFUKUSHIKAI

上神谷福祉会

㊦		㊩	㊪	㊫
㊬	㊭	㊮		㊯
㊰		㊱	㊲	㊳
㊴	㊵	㊶		㊷
㊸		㊹	㊺	㊻



是非、南第4地域包括支援センター
公式LINEアカウントで、
お友だち登録をお願い致します。

友達登録していただいた皆様へ、いろんな
情報を発信していきます。

LINEの友達追加画面・👤を開き、
検索Qを押して ID@298fjuqwを
入力するか、
QRコードを
スキャンして
ください。



TEL : 072-291-6681(南第4地域包括支援センター) 窓口開設時間:月～金 9:00～17:30(祝日・年末年始を除く)